

大阪府高等学校・中学校ゴルフ連盟登録について

1. <https://www.osaka-kogoren.com/entry/> より、登録・申込みを行う。
2. 競技に出場する条件
 - ①加盟登録している中学生、高校生
 - ②セルフでのラウンド経験があり、平均ストロークが原則として130以内の者
3. 大会に出場する場合は、<https://www.osaka-kogoren.com/plan/> よりエントリーを完了する。
4. 出場する大会の《実施要項》〈競技の条件〉を、上記のホームページからプリントアウトして、熟読しておくこと。
※指定練習ラウンド、大会当日に2020年度版以降のルールブックとともにキャディバッグに必ず携帯しておくこと。
5. 指定練習ラウンド、大会当日の組み合わせについては、エントリー後上記のホームページより確認しておくこと。
※指定練習日、大会当日両日とも、各自のスタート時刻30分前にはコース受付を完了し、大会受付（アピア）も忘れずに行うこと。スタートホールには、10分前に集合すること。
6. コースへの行き帰りは原則制服着用とする
7. ゴルフ場に到着後、キャディバッグは各自でスタート室周辺のキャディバッグ置き場へ移動させること。その際に、フロント前を通過しないこと。
(キャディバッグを担いだまま館内へ入場しないこと)

8. 指定練習日、大会当日両日とも、スタートホールで下記のことを行います。

①ユニフォーム規定違反の有無チェック

<https://nihon-kougoren.jp/img/renmei/uniform.pdf?2020> 参照

(日本高等学校・中学校ゴルフ連盟ホームページ)

②携帯品、目土袋スコップ、グリーンフォーク忘れがないかチェック

③競技についての注意事項告知、マーカー指定

9. 競技終了後は、すみやかに精算を済ませ、キャディバッグを車等へ移動させる。

10. どの大会も、お風呂の使用は禁止、ロッカー内での飲食禁止。

昨年度より、コロナウィルス感染防止対策として、皆さんと対面するかたちでのルール・マナー講習会の開催が困難な状況が続いております。ゴルフという競技は、審判員が立ち会わないという性質上、「自己申告」を正しく行えることがとても大切な要素となります。私たち、大阪府高等学校・中学校ゴルフ連盟の最大の目的は、ゴルフを永く愛し、楽しめる競技であることを広く周知し、ジュニアゴルファー人口の増加を推進することにあります。

競技に出場する目的は、皆さんのレベルによって異なることでしょう。全国大会出場、全国大会での上位入賞を目標に日々の練習に打ち込む人も、ゴルフを始めて間もない人も、大会に出場することが「楽しい」と思えるような連盟を目指しています。そのためには、皆さんのルール・マナーに対する認識が共通していなければ成り立ちません。

これより記載するマナー・ルール等についての内容は、「ゴルフ」をするうえで必ず守り、実行して欲しい事です。登録する皆さんが全員実行すること

が叶うよう、連盟として取り組んでいきます。しっかりと理解したうえで、大阪府高等学校・中学校ゴルフ連盟へ加盟するようにしてください。

1. コースと球はあるがままにプレーすること。
2. 誠実に行動すること。例えば、規則に従う、プレーのあらゆる面で正直である。
3. 他のプレーヤーに配慮すること。例えば、プレーのペースを速やかにする、他の人の安全に気を配る、他のプレーヤーの気を散らさない。
4. コースをしっかりと保護すること。例えば、ディボット（削り取った芝生の跡）に土をいれてならず、バンカーショットの跡をきれいにならず、グリーン上についた落下跡（ピッチマーク）を修復する。
5. ストロークプレーでは、プレーヤーのスコアはマーカ（委員会が特定した人）が、プレーヤーのスコアカードに記録する。マーカの責任は、各ホールスコアをホール毎に確認し、記入することである。
6. プレーヤーは、5. のスコアカードを確認し、間違いがなければ自署で署名し、提出しなければならない。アテストエリアから出ると、委員会が承認するケース以外の訂正はできない。最終責任はプレーヤー本人であることを理解しておくこと。
7. 認められる、禁止される用具の使用について
 - 可⇒距離や方向に関する情報を得るためだけの機器
 - 不可⇒高低差を計測する機器
8. プレーヤーは、医療上の理由で粘着テープ、または類似のカバーするものを使用することができる。ただし、【過剰につけてはならない】【スイング等を援助するものであってはならない】スタート時刻までに、大会本部に問い合わせること。
9. 規則上のプレーペースについて、理解しておく。レフェリーや委員会に援助・裁定を求めている場合や、怪我や病気になった場合、別の正当な理由がある場合を除き、スロープレーについては、初回（1罰打）、2回目（一般の罰）、3回目（失格）となる。
※プレーを速めるために、スコアの良かった順、ホールから遠い者順を必ず

しも守ることなく、危険を回避した状況を条件として、準備の整っている者からプレーを開始することを強く推奨する。

※自分の打順までに、距離の計測やルーティンを完了しておくなどの工夫をする。また、次打への移動は早歩きで行う。前方の組の姿が見えなくなったら追いつくまで、小走りに切り替える。第一組目のプレーヤーは、9ホール2時間を目標にプレーを引っ張ること。

※同伴競技者全員で、打球の方向を確認し、搜索時間のロスをなくす。同組で協力しなければ、プレーのペースは速まらないこと認識する。

10. プレー中、アドバイスを与えたり、求めてはいけない。保護者やコーチとの接触には充分気をつけること。

11. 球のドロップについて次の3つの正しい方法で行う。

①プレーヤー自身が ②まっすぐ立った時の膝の高さから ③救済エリアに

12. ペナルティーエリアは赤か黄のいずれかで標示する。この色はプレーヤーの救済の選択肢に影響する。プレーヤーの球がペナルティーエリアにある場合、次に対する救済はない

①異常なコース状態による ②地面に食い込んでいる ③アンプレヤブル救済

13. プレーヤーはいつでも、1罰打を加え、直前のストロークが行われた場所から元の球か別の球をプレーすることによって「ストロークと距離」の救済を受けることができる。

※大阪府高等学校・中学校ゴルフ連盟主催の大会では、特設ティーを全ホールに設置している。プレーヤーの選択により決定することができる。

14. ラウンド中に生じた規則問題の解決について、競技委員が合理的な時間内に現れない場合、ストロークプレーでは2つの球をプレーすることにより、自分の権利を守ることができる。2つの球をプレーする場合は、「どちらの処置をカウントするか」を選び、先にマーカ一等に知らせるべきである。そのスコアがどちらも同じであったとしても、スコアカードを提出する前に報告しなければならない。報告をしなかった場合は失格となる。

また、すべてのプレーヤーの利益を守るために、プレーヤーが別のプレーヤーが規則の違反をした（または、したかもしれない）のに、その別のプレー

プレーヤーがそのことに気づいていない、または無視していることを知っている、またはそう思う場合、そのプレーヤーはその別のプレーヤー、その別のプレーヤーのマーカーや競技委員に知らせるべきである。これは、その問題に気づいたら直ぐに行うべきであり、その別のプレーヤーがスコアカードを提出する前に行うべきである。

15. 大阪府高等学校・中学校ゴルフ連盟主催競技において、規則に基づく問題に関する裁定については、引率顧問が競技委員を兼任する。当日の競技委員長が最終である。競技委員長が裁定を下すことができない場合、その問題をR&Aの規則委員会に問い合わせることができ、その裁定は最終である。

また、間違った裁定を訂正する場合は、可能であれば規則に基づいてその裁定を訂正する。訂正するには遅すぎる場合、その間違った裁定が有効となる。

16. 通常、ストロークプレー競技の終了後は（重大な非行）である場合を除き、罰を追加したり、訂正してはならない。競技は連盟が定めた方法で、結果が最終となったときに終了する。（競技委員長の成績発表がなされた時点をもって）

今回、記載している内容はルールブックを抜粋したものです。ゴルフを競技する者として、ゴルフ規則を知っていることは非常に大切なことであり、自身の競技に余裕を持たせるための武器にもなります。時間があれば、ルールブックに目を通す習慣を身につけましょう。下記のJGAのゴルフ規則動画を全て視聴しておくことをおすすめします。

<http://www.jga.or.jp/jga/html/rules/movie.html>

（JGA ホームページ）

大阪府高等学校・中学校ゴルフ連盟 競技部